

# 各分科会における役割とアウトプットの整理

# 1. 第1回検討会等における主な指摘事項と対応

東日本大震災以降、我が国のエネルギー状況は大きく変化している。省エネなのか、節電なのか、CO2削減なのか、目的を明確にする必要がある。

→本事業の目的は、家庭部門の『CO2削減対策』と捉えており、これが結果的に省エネにも寄与すると考えている。本検討会では、この目的設定に対して、ご意見を頂戴したい。

類似の制度との差別化、位置づけを明確にすること。

→事務局にて、類似制度の整理を実施中。第二分科会で検討を行う予定。  
(資料2-3)

本事業を進めるにあたっては、中長期的なビジョンに対してこの事業がどう貢献するのか明確にしたうえで、例えば、個人情報の問題などリスクヘッジの方法や、事業のターゲットに関するマーケティングなどの方法や戦略論を検討すること。

→今年度養成した診断員属性等により、事務局にて効果検証及び課題の整理を行った後、第二分科会にて事業のターゲット等について検討を行う。(資料2-3)

うちエコ診断が最終的に家庭部門の低炭素化につながるよう、ロードマップが必要。

→「自立的な仕組み」として、「全国に広く普及させる」ことを本事業の目的とした上で、事務局にて事務局案を取りまとめ、第二分科会及び検討会にてご議論いただく。  
(資料3)

## 2. 各分科会の検証内容とアウトプットの関連

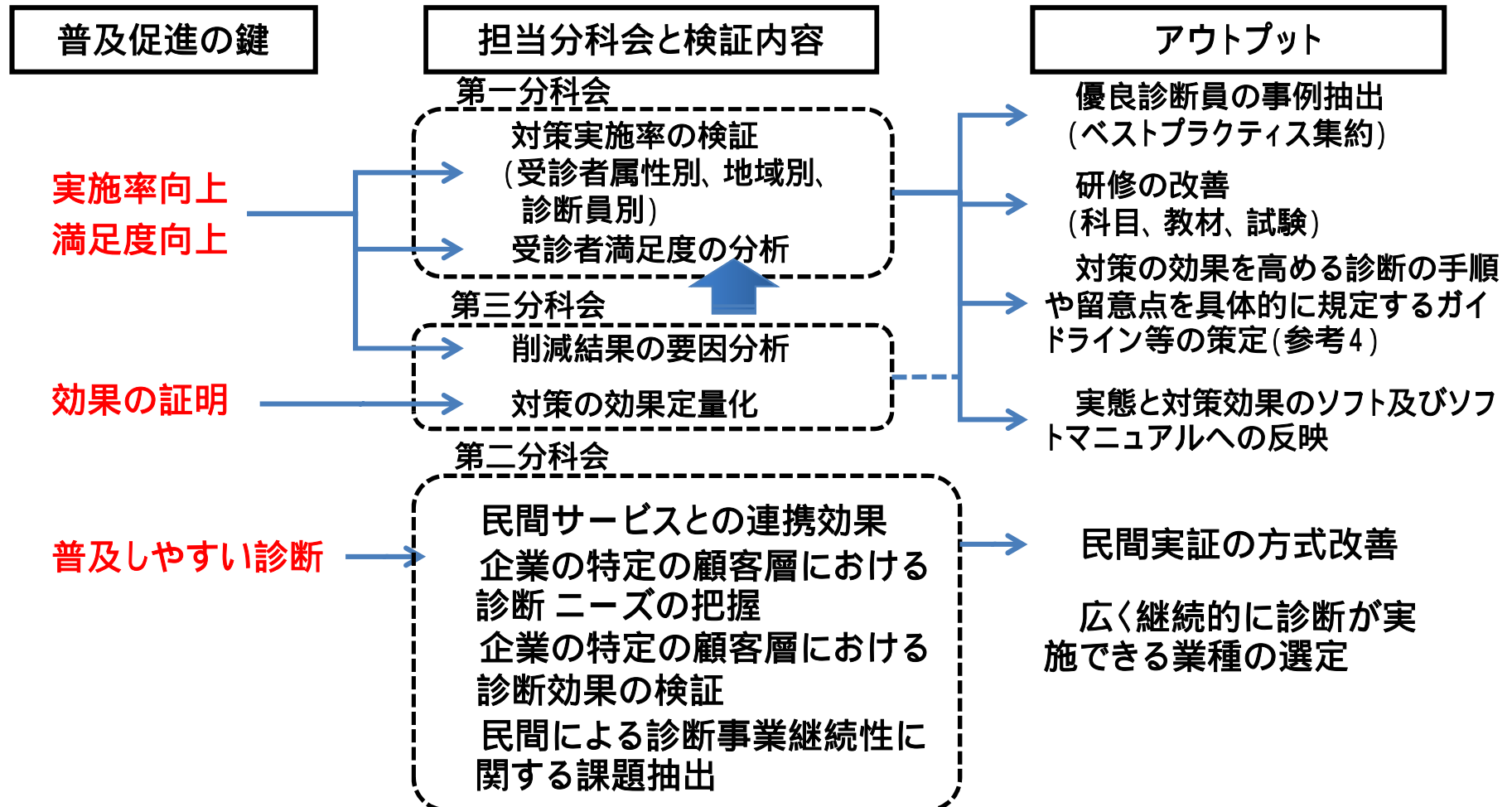
### 事業の目的: うちエコ診断の普及と環境コンシェルジュ制度への展開

うちエコ診断の効果を上げる(対策実施率の向上): 診断という行為の価値を高める。

うちエコ診断の満足度を向上する: リピーターや口コミ評判のきっかけになる。

うちエコ診断の効果を証明する: 受診者側のメリットが明確になる

うちエコ診断を普及しやすい形にする: 診断サービスに参入しやすくなる。



### 3. データに基づく検証の対比

本年度事業において、第一分科会、第三分科会で検証する事項を以下に整理した。

分科会名	検証の主眼	検証すべき事項	取得すべき事項(データ)
第一分科会	診断の効果 (対策実施率 & 満足度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 受診者が実際に行動に移したか。</li> <li>● どのような対策が実施されやすいか。</li> <li>● 属性によって行動実施に差があるか。</li> <li>● 診断員によって行動実施に差があるか。</li> <li>● 満足度の高い診断は、属性や診断員で差があるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 主要属性</li> <li>● 提案の実施率</li> <li>● 診断員の属性</li> </ul>
第三分科会	対策の効果 & 要因分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>● エネルギー消費データから、診断で提案された対策の効果を検証。</li> <li>● どのような対策は効果が高いか。</li> <li>● 属性やライフスタイルによって対策の効果がどう変わるか。</li> <li>● 事前/事後の自己申告(アンケート)や、デフォルト値の差異があるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電力総量データ(個別家電データ)</li> <li>● エネルギー消費に寄与する世帯属性</li> </ul>

## 4. うちエコ診断の実施スキームにおける対比

本年度事業においては、アプローチの異なる以下の2つの枠組みで「うちエコ診断」を実施している。

試行名	分科会名	実施内容	診断実施対象
地域別診断 試行	第一分科会	<ul style="list-style-type: none"><li>●気候区分による対策提案の妥当性の検討</li><li>●うちエコ診断の対策実施率と満足度向上のための情報収集と分析に主眼</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>●全国の各地域の一般家庭</li></ul>
民間企業等 による診断試 行	第二分科会	<ul style="list-style-type: none"><li>●民間企業等の顧客を中心としたうちエコ診断の試行とフィージビリティスタディ</li><li>●ターゲット層を絞り、民間企業等によるうちエコ診断の継続実施の可能性と事業リスクを検討</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>●民間企業等がすでに関係を持っている既存顧客の家庭</li></ul>

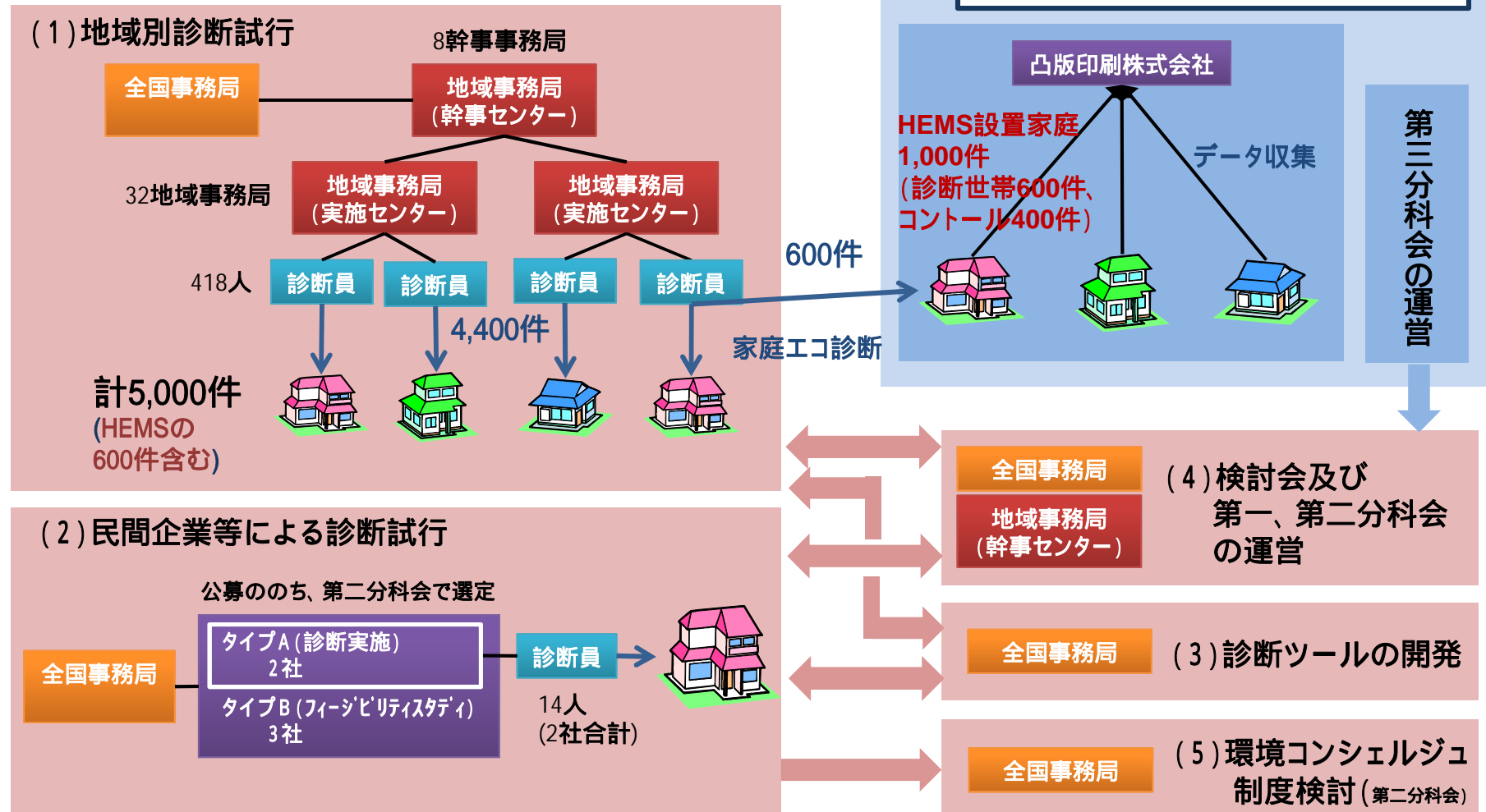
# 参考1. 平成23年度事業の概略

環境省地球環境局温暖化対策課

関連する業務のみ記載

H23年度家庭エコ診断推進基盤整備事業委託業務

H23年度家庭エコ診断効果検証  
実測調査事業委託業務



# 参考2. 家庭エコ診断基盤整備事業検討会・分科会構成

氏名	所属	役職	専門
大久保 規子	大阪大学大学院法学研究科	教授	法律
金谷 年展	慶応大学大学院政策メディア研究科	教授	環境エネルギー政策
下田 吉之	大阪大学大学院工学研究科環境・エネルギー工学専攻	教授	エネルギー
辰巳 菊子	(社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会	常任理事	消費者代表
中上 英俊	(株)住環境計画研究所	代表取締役所長	エネルギー・環境
本藤 祐樹	横浜国立大学大学院環境情報研究院	准教授	エネルギー・LCA
松尾 雄介	(財)地球環境戦略研究機関	政策研究員	地球温暖化、ビジネス
三浦 秀一	東北芸術工科大学建築・環境デザイン学科	准教授	エネルギー(民生部門)
森口 祐一	東京大学大学院工学系研究科	教授	LCA、見える化

事務局:地球温暖化防止全国ネット(JNCCA)

第一分科会 診断の方法論検討、効果検証

氏名	所属
青柳 みどり	国立環境研究所 社会環境システム研究領域環境計画研究室
依藤 佳世	国際経済労働研究所・研究員
本藤 祐樹	横浜国立大学大学院環境情報研究院
松尾 雄介	(財)地球環境戦略研究機関
三浦 秀一	東北芸術工科大学建築・環境デザイン学科
山田 芳幸	(株)エックス都市研究所

事務局:JNCCA

第二分科会 民間企業等による試行と制度検討

氏名	所属
大久保 規子	大阪大学大学院法学研究科
金谷 年展	慶応大学大学院政策メディア研究科
曽根崎 義治	連合総合政策局・社会政策局
辰巳 菊子	(社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会
原尻 淳一	株式会社ブルームコンセプト
松尾 雄介	(財)地球環境戦略研究機関

事務局:JNCCA

第三分科会 DBの構築と診断効果の定量化

氏名	所属
喜連川 優	東京大学生産技術研究所
工藤 祐揮	(独)産業技術総合研究所
古川 柳蔵	東北大学大学院情報科学研究科
本藤 祐樹	横浜国立大学大学院環境情報研究院
森口 祐一	東京大学大学院工学研究科

事務局:凸版印刷・日本IBM

下線の委員は検討会及び分科会の座長

## 参考3 . 検討会・分科会における主な検討内容

検討会名		検討事項
家庭エコ診断推進基盤整備事業検討会		<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体統括 ・分科会での検討事項の共有 ・全体進捗管理 ・理念・コンセプトの検討</li> <li>・分科会へのタスクアウト、分科会からのインプットを受けた、今後の普及戦略の検討</li> </ul>
分科会名		検討事項
第一分科会	診断の方法論検討、効果検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>対策実施率の検証</li> <li>・提案された対策項目とその効果を気候区分別に検証し、ソフトの改修方針を整理</li> <li>・受診家庭の属性による実施率の傾向分析を行い、次年度以降の診断ガイドライン等の策定に役立つ情報を整理</li> <li>・診断員の養成に資するため、診断員の属性ごとの提案項目とその効果を分析</li> <li>受診者満足度の分析</li> <li>・診断手法の改善、対策提案の改善、受診世帯数の増大に繋げることを目的に、満足度と関連性の強い対策提案や診断員の属性等の傾向を分析</li> </ul>
第二分科会	民間企業等による診断試行実施及び制度検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>民間企業等の顧客を中心としたうちエコ診断の試行とフィージビリティスタディ</li> <li>・民間企業等によるうちエコ診断の継続実施の可能性を検討</li> <li>自立的な診断の普及に向けたマーケティングや普及戦略等の検討</li> <li>環境コンシェルジュ制度化に向けた事業リスク、類似制度等の整理</li> </ul>
第三分科会	DBの構築と診断効果の定量化	<ul style="list-style-type: none"> <li>うちエコ診断の効果分析(対策の効果定量化)</li> <li>・属性毎のモデル作成による予測値の算出</li> <li>・予測値と実測値の比較による効果検証</li> <li>診断方法の改善のための基礎データ分析(削減結果の要因分析)</li> <li>・うちエコ診断提案施策のグルーピングによる要因分析</li> <li>・自己申告と実態の比較分析</li> <li>大規模データ分析</li> <li>・家庭における属性ごとのエネルギー削減ポテンシャルの算出と行動要因の分析</li> <li>大規模データ利活用と情報保護のあり方の検討</li> </ul>



# 参考4 . ガイドライン等のイメージ

